クラウドサービスの移行計画、運用計画の作り方__2026年4月1日～2026年5月31日開催【動画】（4326026）

クラウドサービス（主にパブリックIaaS）は迅速性や拡張性など便利な特性がある半面、既定のサービスということで様々な制約があります。本セミナーでは、クラウドサービスへの移行計画と運用管理に焦点を当てます。どのように移行計画を立てて実行していくのか、移行した後はどんな点に注意して運用していくのか検討していきます。

開催日時	2026年4月1日(水）動画配信開始 2026年5月31日(日）動画配信終了
JUAS研修分類	ITアーキテクト・システム企画・IT基盤(クラウド利活用)
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル
DXリテラシー	What(DXで活用されるデータ・技術)：デジタル技術
講師	澤橋松王 氏 （日本オラクル株式会社 Product Management, OCI Japan Vice President ） チーフアーキテクトとして数々のクラウドプロジェクトのRFP作成を支援。IBMのクラウドサービス立ち上げを推進。 2024年9月より現職。 日本情報システム・ユーザー協会　非常勤講師 個人事業主（作家） 主な資格： TOGAF9、The Open Group Distinguished IT Architect
参加費	JUAS会員企業/ITC：23,650円 一般：30,250円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	IaaSクラウドサービス利用を検討しているユーザー企業のご担当者 中級
開催形式	動画視聴
定員	無制限
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	＊キャンセル規定について、動画開始日を開催日といたします。
ITCA認定時間	4

主な内容

■受講形態
録画視聴のみ　【録画視聴のご注意】
録画配信期間　：2026年4月1日～2026年5月31日
視聴時間めやす：約４時間
■テキスト
配信日当日よりマイページ掲載
■配信日までの課題事項
特になし

クラウドサービス（主にパブリックIaaS）は迅速性や拡張性など便利な特性がある半面、既定のサービスということで様々な制約があります。
本セミナーでは、クラウドサービスへの移行計画と運用管理に焦点を当てます。どのように移行計画を立てて実行していくのか、
移行した後はどんな点に注意して運用していくのか検討していきます。

◆主な内容
第１部 クラウドサービスの特性を知る
・優れている点
スピード

柔軟性
地球規模
・制約となる点
ブラックボックス化されたサービス
サポートOSの制限
可用性（障害時と保守時）
監視と通知
ネットワーク速度と遅延

第２部 クラウド移行計画を作る
・通常の移行計画、プロジェクト管理との違い
・ボーディング計画
・構築計画
・移行計画
・テスト計画
・サービスイン・クライテリア
・リスク管理
・セキュリティ管理

第３部 クラウド運用計画を作る
・通常の運用計画との違い
・インシデント管理
・問題管理
・キャパシティ管理
・ライフサイクル管理

第４部 移行計画書、運用計画書のサンプルの解説

＜参加者の声＞
・想定される問題事例やその対処方法、どのように運用設計するのが妥当であるかの解説が分かりやすかった。
・クラウドへの移行計画する業務の基礎を学習できると思った。
・クラウドの利点だけでなく制約事項や注意すべき点もご説明いただいたことで、時と場合に応じたクラウドの使い方を検討できると思った。

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
＜キャンセル規定＞
録画配信日を開催日といたします。あらかじめご了承ください。
・土日祝を含む開催７日前から前々日まで…参加費用の50%
・土日祝を含む開催日前日および開催当日（欠席）…参加費の全額
※受講権利チケット利用にてお申し込みの場合
・土日祝を含む開催７日前から開催当日…参加費の全額（必要枚数）
※動画視聴前であってもキャンセル料が発生しますので、ご注意ください。